

アルミ缶回収 ご協力ありがとうございました

5日（水）、今年度最初のアルミ缶回収がありました。お家の皆様、地域の皆様のご協力により、バックネット裏の収納スペースには、アルミ缶入りの袋が収まりきらずにあふれている状況でした。『児童引き渡し訓練』が続いて計画されており、作業に時間がかかると、子どもさんを待たせてしまうことになることが心配されました。しかし、実際に始まると、保護者の皆様がてきぱきと効率よく作業を進めてくださり、40分後にはきれいに片付けまで終わっていただきました。蒸し暑いなかでの作業、本当にありがとうございました。



『引き渡し訓練』短時間で終了 ありがとうございました



引き続き、『引き渡し訓練』が行われました。「地震発生」の想定の下、担任の引率で体育館に集まった児童を、迎えに来ていただいたおうちの方に引き渡しました。

この訓練のために、ご家庭での用事や、お仕事を切り上げてお迎えに来校くださった

保護者の皆様、本当にありがとうございました。お陰様をもちまして、約30分後すべての子どもさんの引き渡しが完了しました。

訓練は短時間で無事終了してひと安心。しかし、もしも実際に災害に見舞われたときのことを考えますと、訓練のように安全に子どもさんを保護者の皆様に引き渡すためには、準備したり訓練したりするべきことがまだまだ残されていると考えます。

昼食時にランチルームで、係の西沢先生から今日の訓練に向けての心構えについてのお話があり、それを受けて真剣に取り組むことができた子どもたち。春の避難訓練に続いて、立派な態度でした。

麻績の子どもの「健康課題」～学校保健委員会から～

3日（月）、「校内学校保健委員会」がもたれました。体育・保健・給食などの担当職員が、子どもたちの体力や健康の状況について考え合います。このことは、職員会議を経て各ご家庭に発信したり、保護者の皆様に出席いただく「学校保健委員会」でも詳しくお伝えしたりして、保護者の皆様にもその課題についてともに考えていただくことが大切だと考えます。

さて、ここ数年来の麻績小学校の健康課題として、運動不足やそれにとともなう肥満傾向が進んでいることが取り上げられてきました。今年度の健康診断や発育測定、スポーツテストの結果からも、やはり同じ心配があることが見えてきています（詳しいデータについては、「ほけんだより」や、学校保健委員会の報告にてお伝えします）。

この「おたより」でも何度かお伝えしていますが、麻績の子どもたちは朝や休み時間に外遊びをよくしています。それに学年の体育館使用日を待ちかねて体育館でボール運動をしていますし、中庭では一輪車や竹馬、平均台でのじゃんけんゲームなどが盛んで、短時間であっても体を動かしている子どもの姿が多いです。

給食では、栄養バランスのとれた献立を考えてくれていますが、「おかわり」についても、各学年で子どもさんの状況に応じた配慮がなされています。

その一方で、学区が広く、多くの子どもさんがバス通学を余儀なくされている状況であること、友だちと遊ぶにもお家の方に車で送迎してもらわなければ安心して行き来できない距離があることなど、子どもさんの運動量の確保に向けて、解決の困難な状況も多いです。

「朝マラソン」も熱心に取り組む子どもたちですが、高学年になれば朝の活動がそれぞれあって、その機会はどうしても減らざるを得ません。「歩こうデー」も、意識して取り組んでいる子どもさん、支えてくださる保護者の方も多いですが、毎日歩くというわけにもいきません。

さて、ここからもう一步、この課題解決に向けて何ができるでしょうか。とても難しく思えます。昨年度、朝の活動に週一回の全校マラソンが加わりました。成果は感じられますが、十分な運動量確保には追いついていない印象です。今以上にその機会を増やしても「やらされている」活動となって、効果が期待できなくなりそうです。

ごく当たり前ではありますが、「少しでも時間を見つけて体を動かす」、「なるべく歩く」、「天気がよかったらまず屋外に出る」、「バランスよく食べる」、「よくかんで食べる」、「食べ過ぎない」などの子どもさんの意識を一層高めることが、まずできる一手ではないかと考えます。お家の方にも、今後もぜひいっしょに考えていただきたいことがらです。